

職業実践専門課程の基本情報について

Table with columns: 学校名, 設置認可年月日, 校長名, 所在地, 設置者名, 設立認可年月日, 代表者名, 所在地, 分野, 認定課程名, 認定学科名, 専門士, 高度専門士, 工業, 工業専門課程, 一級自動車研究開発学科, 平成18年文部科学省告示第八十八号, 学科の目的, 学校教育法及び私立学校法の規定に基づき、高度の一般教育と実践的専門的な技術及び理論を習得させ、自動車の未来を担う自動車知識と技術力と行動力をもった国家一級自動車整備士を育成する事を目的とする。

(留意事項)

- 1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。
2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知(25文科第596号))」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

### 3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

|  |   |                                |                     |
|--|---|--------------------------------|---------------------|
| 1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係   |   |                                |                     |
| (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針<br>企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能を反映するため、企業・業界団体等からの意見を十分にいかし、カリキュラムの改善等の教育課程編成を定期的に行うことを基本に展開を図る。また、企業実習などを通じ、学校では学びきれない実践力を養うと共に、卒業生満足度調査を実施し、企業が求める人材要素や教育弱点領域の把握を行い、教育課程への反映を行うものとする。  |   |                                |                     |
| (2)教育課程編成委員会等の位置付け<br>校長は当年度の教育課程編成を本校関係者により組織した教育課程編成委員会(以下「編成委員会」という。)に報告し、意見を聴取し、その意見を尊重し、教育活動に活用する。  |   |                                |                     |
| ① カリキュラムの改善のため委員会を設置   | ② カリキュラムの改善への意見を提案                              | ③ 組織としてカリキュラムの改善を検討・決定         | ④ 決定内容に応じてカリキュラムを改善 |
| ⑤ 実施結果を検証  |   |                                |                     |
| (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿   |   |                                |                     |
| 令和2年4月1日現在   |   |                                |                     |
| 名前   | 所属  | 任期                             | 種別                  |
| 中妻 茂   | 一般社団法人埼玉県自動車整備振興会                               | R2年4月1日～R4年3月31日               | ①                   |
| 鈴木 尚也(国際自動車整備科担当委員)  | 株式会社 ホンダテクノフオート                                 | R2年4月1日～R4年3月31日               | ③                   |
| 富田 英則(自動車整備科担当委員)  | 株式会社 ホンダカーズ久喜                                   | R2年4月1日～R4年3月31日               | ③                   |
| 中村 純一<br>(一級自動車研究開発学科担当委員)   | 株式会社 ホンダプロモーション                                 | R2年4月1日～R4年3月31日               | ③                   |
| 都築 俊一(委員長)   | ホンダテクニカルカレッジ関東 校長                               | H31年4月1日～R3年3月31日              |                     |
| 山口 靖之  | ホンダテクニカルカレッジ関東 教頭                               | R2年4月1日～R4年3月31日               |                     |
| 熊原 文入(事務局)   | ホンダテクニカルカレッジ関東 サービスエンジニア2課課長                    | R2年4月1日～R4年3月31日               |                     |
| 遠富 由樹  | ホンダテクニカルカレッジ関東 開発エンジニア課課長                       | R2年4月1日～R4年3月31日               |                     |
| 嶋 健司   | ホンダテクニカルカレッジ関東 サービスエンジニア1課課長                    | R2年4月1日～R4年3月31日               |                     |
| 瀧美 淑弘  | ホンダテクニカルカレッジ関東 教育改革課課長                          | H31年4月1日～R3年3月31日              |                     |
| ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。<br>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)<br>②学会や学術機関等の有識者<br>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員   |   |                                |                     |
| (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期<br>令和元年度2回開催・令和2年度2回開催<br>(開催日時)<br>(令和元年度)第1回 令和元年5月24日 14:00～16:00<br>(令和元年度)第2回 令和元年6月27日 15:00～17:00<br>(令和2年度)第1回 令和2年6月12日 15:00～17:00<br>(令和2年度)第2回 令和2年6月24日 15:00～17:00   |   |                                |                     |
| (5)教育課程編成委員会等の意見の活用状況<br>教育課程編成委員会におけるカリキュラム等の検討内容として<br>・令和元年度5つの取り組みについての振り返り<br>①退学率目標0%に向けた取り組み:退学者に対する対策として、進路変更に対する意欲喪失に対する退学防止策<br>②就職一発内定率100%に向けた取り組み:就職先情報データベース化、受験企業情報・試験報告書有効活用、学生の資質に合わせて進路決定フォロー等説明<br>③一級登録試験100%合格に向けた取り組み:分野別に偏差で管理し弱点の見極め実施、分野別に目標点を決め、進捗管理。<br>④二級登録試験100%合格に向けた取り組み:低学力/応用力欠如者顕在化に対する仕組み造り等<br>⑤企業CS結果に対する対応について:e-dealer(ホンダ・サービスフロントのシステム)時間増。お客様説明のロープレ強化。 |   |                                |                     |
| 2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係  |   |                                |                     |
| (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針<br>卒業生満足度調査においての弱点領域や点検整備など実践力不足に関して学生自らが気づく必要がある。また内定後の安堵感による気の緩みなどから就職までに備えなければならぬことを実行できない学生が多い。就職先の現場を経験することで実社会の厳しさと自らの弱点を知り、卒業までの課題を自覚すると共に内定先からの期待を認識し、今後の学習意欲を喚起する。   |   |                                |                     |
| (2)実習・演習等における企業等との連携内容<br>就職内定先企業、または提携企業にて現場実習を行う。合わせて研修学生は実習先へ研修レポートを提出し、企業から考課表にて評価を頂くと共に科目評価とする。(対象科目:体験実習)  |   |                                |                     |
| (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。   |   |                                |                     |
| 科目名  | 科目概要  | 連携企業等                          |                     |
| 体験実習<br>(企業実習)   | 実社会において実施されている実践的な業務内容を知り、必要とされるスキルと手法を理解し習得する。 | ケーヒン・ショーワ・TSテック・エフテック・ソライズなど6社 |                     |
|  |   |                                |                     |
|  |   |                                |                     |
|  |   |                                |                     |
|  |   |                                |                     |

| 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
|---|----------------------------------|------------------|-------------|-------------|----------------------------|----------|--------------------|------------------|-----------------|----------|--------------------------------|------------------|----------------------------------|----------|---------------------|------------------|-----------|--------|-----------------------|------------------|----------------------|----------------|-----------------------------|------------------|-----|
| (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針<br>学則細則より<br>(教職員の研修)<br>第5条 教員は、校長の指示により、その専門分野における実務能力の向上及び指導力の修得・向上のために必要な研修を定期的に受けるものとする。  |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (2) 研修等の実績<br>① 専攻分野における実務に関する研修等<br>1) 本田技研工業(株)における新機種技術研修(2019年5月29日(Nワゴン)、12月18日(新fit)1月29日(新accord)の3回参加。ホンダが新しく市場に売り出した機種について、教員が新機種・新技術を理解することができる。結果、学生に教えていく新機種・新技術の基礎理解の場である。)<br>② 指導力の修得・向上のための研修等<br>1) 埼玉県専修学校各種学校協会主催の専修学校教員研修会(2019年6月29日、2019年7月13日、2019年7月27日、専修学校教職員の資質向上と教育内容充実のため、さらに効果的な職業教育を実践する。教育原理など教育の基本的知識に加え、学生とのコミュニケーションについて実践的に学べる。基本2年間履修。1年目履修2名、2年目履修2名)<br>2) 全国自動車整備専門学校協会主催 JAMCA教職員夏季研修会(2019年7月30日～8月2日の4日間、3名の教員参加。教育心理、授業運営技法、コーチング・コミュニケーション技法、グループディスカッションとテーマ発表など、教員のスキル向上、参加者相互の研鑽および情報交換)  |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (3) 研修等の計画<br>① 専攻分野における実務に関する研修等<br>本田技研工業(株)における新機種技術研修(コロナにより日程未定。ホンダが新しく市場に売り出した機種について、教員が新機種・新技術を理解することができる。結果、学生に教えていく新機種・新技術の基礎理解の場である。)<br>② 指導力の修得・向上のための研修等<br>1) 埼玉県専修学校各種学校協会主催の専修学校教員研修会もコロナ感染症拡大の為、開催未定(専修学校教職員の資質向上と教育内容充実のため、さらに効果的な職業教育を実践する。教育原理など教育の基本的知識に加え、学生とのコミュニケーションについて実践的に学べる)<br>2) 全国自動車整備専門学校協会主催の教員研修会もコロナ感染症拡大により中止(自動車の専門学校に教員として赴任した先生を集め、自動車整備に関する効果指導を習得するために効果的な指導方法を学ぶ宿泊研修)   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (1) 学校関係者評価の基本方針<br>学則に照らし建学の精神・育成方針に沿った年度毎の重点施策、学生生徒の状況、教育課程・学習指導、教員の状況について自己評価表を用い、自己評価を実施し、学外からの適正な評価を受けるため、学外者を含んだ学校関係者評価委員会を組織し、実施した自己評価を検証する。   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応<br><table border="1"> <thead> <tr> <th>ガイドラインの評価項目</th> <th>学校が設定する評価項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 教育理念・目標</td> <td>建学の志・学園の目的・教育方針 年度における重点課題</td> </tr> <tr> <td>(2) 学校運営</td> <td>3ヵ年計画及び方針と目標(重点課題)</td> </tr> <tr> <td>(3) 教育活動</td> <td>教務部方針及び重点課題対応施策</td> </tr> <tr> <td>(4) 学修成果</td> <td>就職内定率・資格取得率・退学率・休学率・社会的な活躍及び評価</td> </tr> <tr> <td>(5) 学生支援</td> <td>進路指導・学生相談・経済的支援・学生の健康管理・課外活動・学生寮</td> </tr> <tr> <td>(6) 教育環境</td> <td>国土交通省における一種養成施設設置基準</td> </tr> <tr> <td>(7) 学生の受入れ募集</td> <td>募集活動目標と施策</td> </tr> <tr> <td>(8) 財務</td> <td>事業計画・主要財務数値・予算書・監査計画書</td> </tr> <tr> <td>(9) 法令等の遵守</td> <td>専修学校設置基準・第一種養成施設指定基準</td> </tr> <tr> <td>(10) 社会貢献・地域貢献</td> <td>環境への取組み・社会貢献事業に対する取組み(地域清掃)</td> </tr> <tr> <td>(11) 国際交流</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |                                  | ガイドラインの評価項目      | 学校が設定する評価項目 | (1) 教育理念・目標 | 建学の志・学園の目的・教育方針 年度における重点課題 | (2) 学校運営 | 3ヵ年計画及び方針と目標(重点課題) | (3) 教育活動         | 教務部方針及び重点課題対応施策 | (4) 学修成果 | 就職内定率・資格取得率・退学率・休学率・社会的な活躍及び評価 | (5) 学生支援         | 進路指導・学生相談・経済的支援・学生の健康管理・課外活動・学生寮 | (6) 教育環境 | 国土交通省における一種養成施設設置基準 | (7) 学生の受入れ募集     | 募集活動目標と施策 | (8) 財務 | 事業計画・主要財務数値・予算書・監査計画書 | (9) 法令等の遵守       | 専修学校設置基準・第一種養成施設指定基準 | (10) 社会貢献・地域貢献 | 環境への取組み・社会貢献事業に対する取組み(地域清掃) | (11) 国際交流        |     |
| ガイドラインの評価項目   | 学校が設定する評価項目                      |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (1) 教育理念・目標   | 建学の志・学園の目的・教育方針 年度における重点課題       |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (2) 学校運営  | 3ヵ年計画及び方針と目標(重点課題)               |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (3) 教育活動  | 教務部方針及び重点課題対応施策                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (4) 学修成果  | 就職内定率・資格取得率・退学率・休学率・社会的な活躍及び評価   |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (5) 学生支援  | 進路指導・学生相談・経済的支援・学生の健康管理・課外活動・学生寮 |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (6) 教育環境  | 国土交通省における一種養成施設設置基準              |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (7) 学生の受入れ募集  | 募集活動目標と施策                        |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (8) 財務  | 事業計画・主要財務数値・予算書・監査計画書            |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (9) 法令等の遵守  | 専修学校設置基準・第一種養成施設指定基準             |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (10) 社会貢献・地域貢献  | 環境への取組み・社会貢献事業に対する取組み(地域清掃)      |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (11) 国際交流   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| ※(10)及び(11)については任意記載。   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (3) 学校関係者評価結果の活用状況<br>今年度の評価である「学園の強みを積極的に情報発信することで学園のブランド力が向上」「多くの学生が享受できる奨学金制度の検討」「女子学生を獲得するための取り組みを今後も更に進めて頂きたい」「エコランやフォーミュラー競技で常にNo1になる取り組みをお願いしたい」の提案をして頂き、重点施策として、スピードを持って、積極的に具体化し取り込んでいる。   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿<br>令和2年4月1日現在   |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金子 明様</td> <td>埼玉県 ふじみ野市 市役所</td> <td>R2年4月1日～R4年3月31日</td> <td>自治体代表</td> </tr> <tr> <td>森山 吉樹</td> <td>株式会社 オートテックジャパン</td> <td>R2年4月1日～R4年3月31日</td> <td>企業等委員</td> </tr> <tr> <td>松岡 孝</td> <td>本田技研工業株式会社</td> <td>R2年4月1日～R4年3月31日</td> <td>企業等委員</td> </tr> <tr> <td>関谷 雅裕</td> <td>株式会社 ホンダカーズ 埼玉</td> <td>R2年4月1日～R4年3月31日</td> <td>企業等委員</td> </tr> <tr> <td>藤井 潤</td> <td>当校 後援会OB</td> <td>R2年4月1日～R3年3月31日</td> <td>PTA</td> </tr> </tbody> </table>   |                                  | 名前               | 所属          | 任期          | 種別                         | 金子 明様    | 埼玉県 ふじみ野市 市役所      | R2年4月1日～R4年3月31日 | 自治体代表           | 森山 吉樹    | 株式会社 オートテックジャパン                | R2年4月1日～R4年3月31日 | 企業等委員                            | 松岡 孝     | 本田技研工業株式会社          | R2年4月1日～R4年3月31日 | 企業等委員     | 関谷 雅裕  | 株式会社 ホンダカーズ 埼玉        | R2年4月1日～R4年3月31日 | 企業等委員                | 藤井 潤           | 当校 後援会OB                    | R2年4月1日～R3年3月31日 | PTA |
| 名前  | 所属                               | 任期               | 種別          |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| 金子 明様   | 埼玉県 ふじみ野市 市役所                    | R2年4月1日～R4年3月31日 | 自治体代表       |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| 森山 吉樹   | 株式会社 オートテックジャパン                  | R2年4月1日～R4年3月31日 | 企業等委員       |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| 松岡 孝  | 本田技研工業株式会社                       | R2年4月1日～R4年3月31日 | 企業等委員       |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| 関谷 雅裕   | 株式会社 ホンダカーズ 埼玉                   | R2年4月1日～R4年3月31日 | 企業等委員       |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| 藤井 潤  | 当校 後援会OB                         | R2年4月1日～R3年3月31日 | PTA         |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |
| ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。<br>(例)企業等委員、PTA、卒業生等  |                                  |                  |             |             |                            |          |                    |                  |                 |          |                                |                  |                                  |          |                     |                  |           |        |                       |                  |                      |                |                             |                  |     |

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 令和2年7月1日  
 (ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( )  
 URL:[http://www.hondacollege.ac.jp/honda\\_e/gaiyou/iouhoukoukai.html](http://www.hondacollege.ac.jp/honda_e/gaiyou/iouhoukoukai.html)

(別途、以下の資料を提出)

- \* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- \* 自己評価結果公開資料
- \* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」  
 (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法に基づき、学生・保護者・自動車業界関係者など当該専門学校に関する関係者理解を深め、これらの者と連携協力すると同時に、学校教育法をはじめ、関係法令で定められた目的を実現するための公的な教育機関として、教育活動・自動車に関する情報、その他の学校運営に関する情報を積極的に提供していく。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目          | 学校が設定する項目                     |
|--------------------|-------------------------------|
| (1) 学校の概要、目標及び計画   | 建学の志・学園の目的・教育方針 年度における重点課題    |
| (2) 各学科等の教育        | 入学・卒業情報・カリキュラム・資格、国家試験結果・進路   |
| (3) 教職員            | 教職員数・組織情報                     |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | 企業との連携による取組み状況(インターンシップ)      |
| (5) 様々な教育活動・教育環境   | 学校行事・課外活動(同好会・ボランティア活動)       |
| (6) 学生の生活支援        | 学生相談・経済的支援・学生寮・保護者との連携(後援会活動) |
| (7) 学生納付金・修学支援     | 納付金情報・奨学金制度                   |
| (8) 学校の財務          | 主要財務数値                        |
| (9) 学校評価           | 自己評価・学校関係者評価結果・改善施策           |
| (10) 国際連携の状況       |                               |
| (11) その他           |                               |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:[http://www.hondacollege.ac.jp/honda\\_e/htec/kigyv.html](http://www.hondacollege.ac.jp/honda_e/htec/kigyv.html)

## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |                       |  |         |      |     |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|-----------------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名                 | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |                       |  |         |      |     | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | 図面・材料                 | 自動車を取り扱う上で必要な材料の種類、製法、特徴、用途及び図面に関する一般知識について理解習得する                      | 1通      | 20   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 基礎自動車工学               | これから学ぶにあたり、基本的な自動車とは何かについて理解する。整備士にかかわる工学的な基本事項理解する。                   | 1前      | 16   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | エンジン構造                | 原動機及びエンジン系電装品、動力伝達装置の作動原理及び基本構造、名称等を理解習得する。                            | 1前      | 65   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | シャシ系構造                | 車体各部及び車体系電装品、動力伝達装置の作動原理及び基本構造、名称等を理解習得する。                             | 1前      | 65   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 自動車総論                 | 自動車に関する物理・数学、環境、内燃機関等基礎概論を理解習得する                                       | 1通      | 25   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 総合自動車Ⅰ<br>(総合自動車工学)   | シャシ・エンジン等に関する自動車工学の復習を行い、総理解を深める。                                      | 1前2通    | 16   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | エンジン系整備<br>(二輪車整備も含む) | エンジン及びエンジン系電装品の点検整備、および電子制御燃料噴射装置の基礎を学ぶ。また二輪車固有のエンジンに関する機構・整備を学ぶ       | 1後      | 50   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | シャシ系整備<br>(二輪車整備も含む)  | 車体、動力伝達、変速装置、走行装置、懸架装置、灯火類などのシャシ系電気装置の点検整備を学ぶ。また二輪車固有のエンジン以外の機構・整備を学ぶ。 | 1後      | 51   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 総合自動車Ⅱ<br>(総合自動車工学)   | シャシ・エンジン等に関する自動車整備の復習を行い、総理解を深める。                                      | 1後2通    | 16   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 機器の構造取り扱い             | 整備に必要な機器の動作原理・取り扱い・メンテナンスを学ぶ。基本的な作業の仕方や正しい使用法などを理解する。                  | 1通      | 34   |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 工作作業                  | 整備に必要な機械加工技術を理解習得するとともに、工作機器の基本的な取り扱いを覚える                              | 1前      | 23   |     |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |

|    |      |               |
|----|------|---------------|
| 合計 | 79科目 | 4011単位時間( 単位) |
|----|------|---------------|

| 卒業要件及び履修方法   | 授業期間等    |     |
|--|----------|-----|
| 必須科目全てにおいて必要時間の履修を完了し、かつ全ての試験に合格することが課程修了の条件となり、必要な課程を修了した者を進級・卒業認定とする | 1学年の学期区分 | 2期  |
|  | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |                      |   |          |      |           |      |    |          |    |     |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|----------------------|---|----------|------|-----------|------|----|----------|----|-----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名                | 授業科目概要  | 配当年次・学期  | 授業時数 | 単位数       | 授業方法 |    |          | 場所 |     | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |                      |   |          |      |           | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外  | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | 測定作業                 | 整備に必要な計測機器の正しい作業方法を理解習得する   | 1通       | 45   |           |      |    | ○        | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実エンジン構造 (実二輪構造含む)    | (四輪・二輪) エンジン本体・潤滑・冷却・燃料装置・吸排気装置及びエンジン系電装品の分解組立作業等を通じ構造機能と故障整備概要を理解習得する。             | 1前       | 129  |           |      |    | ○        | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実シャシ構造 (実二輪構造含む)     | (四輪・二輪) クラッチ・AT/MT・サス・ブレーキ・ステアリング・ボディ及びシャシ系電装品の分解組立作業等を通じ構造機能作動と故障整備概要を理解習得する       | 1前       | 129  |           |      |    | ○        | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実エンジン系整備 (実二輪構造含む)   | 前期エンジン系構造実習にて得た分解・組立方法を基に作業を行い、整備に必要な点検・調整方法を理解習得する                                 | 1後       | 165  |           |      |    | ○        | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実シャシ系整備 (実二輪構造含む)    | 前期シャシ系構造実習にて得た分解・組立方法を基に作業を行い、整備に必要な点検・調整方法を理解習得する                                  | 1後       | 165  |           |      |    | ○        | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実二輪車整備               | 通年の二輪車実習にて得た分解・組立方法・点検・調整方法を確実に理解する   | 1後       | 8    |           |      |    | ○        | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 総合自動車整備実習            | 1年：シャシ・エンジン等に関する実習における理解度を確認する。<br>2年：故障探求や点検方法など実習における理解度を確認する                     | 1通<br>2通 | 56   |           |      |    | ○        | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | エンジン系応用 (ディーゼル自動車含む) | エンジン総論バルンサ機構、可変バルブ開閉機構、ロータリエンジン、燃料装置、LP G、過給機など、エンジンの構造機能 (応用編) 及び、燃料油脂などについて理解習得する | 2前       | 63   |           |      | ○  |          | ○  |     | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | シャシ系応用               | シャシ性能総論、AT、油圧PS、アライメント要素、クラッチ、トルクコンバータ、サスペンション性能、ABS、TCS等の機能構造作動等について理解習得する         | 2前       | 63   |           |      | ○  |          | ○  |     | ○  |    |         |
| 合計                                    |      |      |                      |   | 79科目     |      | 4011単位時間( |      |    |          |    | 単位) |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法   | 授業期間等    |     |
|--|----------|-----|
| 必須科目全てにおいて必要時間の履修を完了し、かつ全ての試験に合格することが課程修了の条件となり、必要な課程を修了した者を進級・卒業認定とする | 1学年の学期区分 | 2期  |
|  | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |                         |   |         |               |             |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|-------------------------|---|---------|---------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名                   | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数  | 単<br>位<br>数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |                         |   |         |               |             | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | 自動車総論Ⅱ                  | 走行性能、プラネタリギヤ、エンジン性能、熱効率と仕事率、電気効率、オシロスコープ波形、軸重計算、制動性能 等                              | 2前      | 30            |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 故障原因探求エンジン(ディーゼル含む)・シャシ | 機械系の故障診断における診断方法と対応手法を理解習得する。一級資格につながる電子制御システムの診断手法の基本を理解習得する。整備に関する制度等の基本的な事項を理解する | 2後      | 66            |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 新技術                     | 自動ブレーキ等の自動運転に関する仕組み・センサー類の整備点検方法を理解する   | 2後      | 14            |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 自動車検査                   | 自動車の点検車検要領・診断機器・大型自動車・検査機器取り扱いなど自動車の検査や各検査機器の活用と関係法令・基準等について理解する                    | 2前      | 23            |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 自動車法規                   | 法規道路運送車両法、道路運送車両の保安基準を学ぶことを通じて、二級自動車整備士としての知識と技術を習得して正しい法規の運用能力を身に付ける。              | 2後      | 23            |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実エンジン系応用(ディーゼル含む)       | エンジン・可変バルブ機構、ロータリ、LPG燃料装置、過給機、ラッシュアジャスタなどエンジン新機構・応用機構の構造機能等を分解組立作業等を通じ理解習得する        | 2前      | 104           |             |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実シャシ系応用                 | オートマチックトランスミッション、パワーステアリング、アライメントなどシャシ新機構・応用機構の構造機能等を分解組立作業等を通じ理解習得する               | 2前      | 104           |             |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実故障原因探求エンジン(ディーゼル含む)    | エンジンにおける機械系の故障診断における診断方法と対応手法を理解習得実践する。電子制御システムの診断手法の基本を理解習得する。                     | 2後      | 97            |             |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 実故障原因探求シャシ              | シャシにおける機械系の故障診断における診断方法と対応手法を理解習得実践する。電子制御システムの診断手法の基本を理解習得する。                      | 2後      | 41            |             |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| 合計                                    |      |      |                         |   | 79科目    | 4011単位時間( 単位) |             |      |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法   | 授業期間等    |     |
|--|----------|-----|
| 必須科目全てにおいて必要時間の履修を完了し、かつ全ての試験に合格することが課程修了の条件となり、必要な課程を修了した者を進級・卒業認定とする | 1学年の学期区分 | 2期  |
|  | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |                 |  |         |               |     |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|-----------------|--|---------|---------------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名           | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業時数          | 単位数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |                 |  |         |               |     | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | 実践自動車整備         | 自動車検査業務や点検整備など、社会において実施されている実践的な整備内容などを実践し、その手法等を理解習得する。(企業実習含む)     | 2前      | ##            |     |      | ○  | ○        |    | ○  |    | ○  |         |
| ○                                     |      |      | 新技術             | ホンダセンシングにおけるエーミング等の自動運転に必要な機器の校正方法などを理解する。アトキンソンサイクルの実物の分解組立を通じ構造理解。 | 2後      | 25            |     |      | ○  | ○        |    | ○  |    |    |         |
| ○                                     |      |      | 実自動車検査          | 自動車の検査について実習作業を通じ理解習得する。各検査機器の活用と関係法令・基準等について理解する                    | 2前      | 56            |     |      | ○  | ○        |    | ○  |    |    |         |
| ○                                     |      |      | 安全運転            | 安全運転に関する心構えを認識し、今後の運転等の意識改革を図るとともに事故減少に取り組む                          | 1<br>2通 | 32            |     |      | ○  | △        | ○  | △  | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 接客実務            | サービスにおける接客実務の理解の幅を広げ、実践できるようにする (SE3級)                               | 1<br>2前 | 36            |     |      | ○  |          | ○  |    |    | ○  |         |
|                                       |      | ○    | 特別講座 (損害保険取得)   | 販社就職にニーズの高い資格：損害保険基礎単位を取得するための講座                                     | 2前      | 18            |     |      | ○  |          |    | ○  | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 特別講座 (ものづくり基礎1) | 自動車モノづくりに関する基礎   | 1後      | 68            |     |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 特別講座 (ものづくり基礎2) | 自動車モノづくりに関する基礎   | 2前後     | 48            |     |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 特別講座 (総合自動車整備)  | 自動車検査業務や点検整備方法など、実践的な整備内容を知り、その手法等の理解、また、二級整備士として必要な知識の定着を最終仕上げを目指す。 | 2後      | ##            |     |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 自動車の運動力学        | 自動車の運動等について理解習得する  | 3後      | 68            |     |      | ○  |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 材料実験            | 機械材料の基本となる性質を理解する  | 3前      | 21            |     |      | ○  | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| 合計                                    |      |      | 79科目            |  |         | 4011単位時間( 単位) |     |      |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法   | 授業期間等    |     |
|--|----------|-----|
| 必須科目全てにおいて必要時間の履修を完了し、かつ全ての試験に合格することが課程修了の条件となり、必要な課程を修了した者を進級・卒業認定とする | 1学年の学期区分 | 2期  |
|  | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |            |   |         |               |     |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|------------|---|---------|---------------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名      | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業時数          | 単位数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |            |   |         |               |     | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-DR I | CATIA-V5の基本的な使い方と、JIS製図のルールを学ぶ                          | 3前      | 17            |     | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 信頼性工学      | 製品における品質の重要性を理解し、物造りをする上での品質に対する意識を行える。                 | 3後      | 34            |     |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-PD I | CATIA-V5を用いて3D形状を作成する。作成後にアSEMBリー（組立）を行い、重心位置や体積、密度を求める | 3前      | 17            |     | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 機械設計基礎 I   | 機械設計の基本となる、応力の求め方や、金型について学ぶ                             | 3前      | 58            |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 機械設計基礎 II  | 機械要素や材料力学を学ぶ  | 3後      | 48            |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 機械測定       | 機械加工と制御を学ぶ上で必要な、各種測定器具（ノギス、マイクロ、ダイヤルゲージ）の使い方を学ぶ         | 3前      | 17            |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | アーク溶接      | アーク溶接の安全特別教育を行い、資格を取得する                                 | 3前      | 23            |     | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 機械加工 I     | 旋盤、フライス盤の基本的な使い方や安全について学ぶ                               | 3前      | 61            |     | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 電気電子基礎     | 電気電子部品のしくみや使い方を学び、実際にはんだごてをつかって簡単な回路を製作する               | 3前      | 38            |     | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| 合計                                    |      |      |            |   | 79科目    | 4011単位時間( 単位) |     |      |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法   | 授業期間等    |     |
|--|----------|-----|
| 必須科目全てにおいて必要時間の履修を完了し、かつ全ての試験に合格することが課程修了の条件となり、必要な課程を修了した者を進級・卒業認定とする | 1学年の学期区分 | 2期  |
|  | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |              |  |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|--------------|--|---------|------|---------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名        | 授業科目概要                                 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数           | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |              |  |         |      |               | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | マイコン制御基礎     | H8マイコンの仕組みを学び、実際に回路を組んでADコンバーターなどを実現する | 3後      | 38   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | アルゴリズム概論     | LEGOマインドストームEV3を使って、プログラムの基礎を学ぶ        | 3前      | 11   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | アルゴリズム基礎     | フローチャートを使って、プログラムの基礎を学ぶ                | 3前後     | 76   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-DR II  | CATIA-V5の基本的な使い方と、JIS製図のルールを学ぶ         | 3前      | 41   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-DR III | CATIA-V5の基本的な使い方と、JIS製図のルールを学ぶ         | 3前後     | 48   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-PD II  | CATIA-V5を使って3Dモデルを作成する                 | 3前      | 59   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-PD III | CATIA-V5を使って3Dモデルを作成する                 | 3後      | 40   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-PD IV  | CATIA-V5を使って3Dモデルを作成する                 | 3後      | 34   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CATIA-GSD    | CATIA-V5のサーフェス機能を用いて、いろいろな曲面を作成する      | 3後      | 34   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| 合計                                    |      |      |              |  | 79科目    |      | 4011単位時間( 単位) |      |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等    |     |
|------------|----------|-----|
|            | 1学年の学期区分 | 2期  |
|            | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |            |  |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|------------|--|---------|------|---------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名      | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数           | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |            |  |         |      |               | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | 思考法基礎      | 問題解決手法の知識習得                                      | 3前      | 27   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 資格対策       | SPIの対策を行う  | 3後      | 16   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 基礎数学       | 制御の基礎になるエンジニアとして必要な基礎知識として中学卒業程度の数学を一般教養として復習する。 | 3前      | 35   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | OAソフト      | OFFICEの3ソフトについて基本から応用までを学習する。                    | 3前      | 43   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | CAE基礎      | 作成した3Dモデル上において物理現象の解析を行いCAEの概要及び目的を学ぶ。           | 3後      | 34   |               | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 機械要素演習     | 実際にベアリングを使う上で必要な知識を学ぶ                            | 4前      | 23   |               |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | モデルベース開発基礎 | 実車の制御システムをコンピューター上に再現(モデル化)し、各種確認試験を行う開発手法の基礎を学ぶ | 4前      | 34   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | モデルベース開発応用 | MBD開発環境にて台車型倒立振子を製作し、MBD開発フローと制御工学を学ぶ。           | 4後      | 34   |               | ○    |    | △        | ○  |    | ○  |    | ○       |
| ○                                     |      |      | 機械加工Ⅱ      | 加工作業の応用、実用部品の設計、製造、試験を行い、部品実用化の一連の流れを学ぶ。         | 4前      | 55   |               |      |    | ○        | ○  |    | ○  |    |         |
| 合計                                    |      |      |            |  | 79科目    |      | 4011単位時間( 単位) |      |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等    |     |
|------------|----------|-----|
|            | 1学年の学期区分 | 2期  |
|            | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |                  |                  |            |  |                 |                  |               |        |        |                              |        |        |        |        |                 |
|---------------------------------------|------------------|------------------|------------|--|-----------------|------------------|---------------|--------|--------|------------------------------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 分類                                    |                  |                  | 授業科目名      | 授業科目概要   | 配当<br>年次・<br>学期 | 授<br>業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数   | 授業方法   |        |                              | 場所     |        | 教員     |        | 企業<br>等との<br>連携 |
| 必<br>修                                | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |            |  |                 |                  |               | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験・<br>実<br>習・<br>実<br>技 | 校<br>内 | 校<br>外 | 専<br>任 | 兼<br>任 |                 |
| ○                                     |                  |                  | NC工作       | NC(数値制御)工作機械により機械加工を行うための、基本的な考え方と制御データ作成の基礎を習得する。 | 4<br>前          | 34               |               |        | ○      | ○                            |        | ○      |        |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | 四力学概論      | ・四力学の概要を学ぶ   | 4<br>前          | 20               |               | ○      |        |                              | ○      |        | ○      |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | 機械金型設計     | 金型の構造や特徴、加工方法について学ぶ                                | 4<br>前          | 48               |               | ○      |        |                              | ○      |        | ○      |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | CAE基礎      | 作成した3Dモデル上において物理現象の解析を行いCAEの概要及び目的を学ぶ。             | 4<br>前          | 38               |               | ○      |        |                              | ○      |        | ○      |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | CAE応用      | 作成した3Dモデル上において物理現象の解析を行いCAEの概要及び目的を学ぶ。             | 4<br>後          | 38               |               | ○      |        |                              | ○      |        | ○      |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | CATIA-PD Ⅲ | CATIA-V5を使って3Dモデルを作成する                             | 4<br>前          | 12               |               | ○      |        | ○                            | ○      |        | ○      |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | CATIA-PD Ⅳ | 過去に学習したCATIAオペレーション能力を元に複雑な形状の部品の3Dモデル作成能力を習得する。   | 4<br>前          | 34               |               | ○      |        | ○                            | ○      |        | ○      |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | CATIA-GSD  | CATIA ジェネレーティブシェイプデザインを使用したサーフェスモデルの作成法を習得する       | 4<br>前          | 34               |               | ○      |        | ○                            | ○      |        | ○      |        |                 |
| ○                                     |                  |                  | 電子制御       | 電気電子基礎・マイコン制御基礎を再学習し、回路製作とプログラミング行う。(ハードとソフト)      | 4<br>前          | 68               |               | ○      |        | ○                            | ○      |        | ○      |        |                 |
| 合計                                    |                  |                  |            |  | 79科目            |                  | 4011単位時間( 単位) |        |        |                              |        |        |        |        |                 |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等    |     |
|------------|----------|-----|
|            | 1学年の学期区分 | 2期  |
|            | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース) 令和2年度 |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|---------------------------------------|------|------|----------|---|---------|------|---------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                                    |      |      | 授業科目名    | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数           | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                                    | 選択必修 | 自由選択 |          |   |         |      |               | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                                     |      |      | マイコン制御応用 | 3年次に行なってきたマイコン制御基礎を再学習し、より複雑なプログラムを作成することでマイコンに備わっている機能の理解を深める。 | 4前      | 34   |               | ○    |    | ○        |    |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | プログラム開発  | CAN通信を使用して、車両の各種情報を取得するデータロガーを作成し、CAN通信の理解を深める。                 | 4後      | 34   |               | ○    |    | ○        |    |    | ○  |    |         |
| ○                                     |      |      | 卒業研究     | 研究テーマに沿って企画・設計・制作・テスト・結果報告まで行う。                                 | 4前後     | ##   |               | ○    |    | ○        |    |    | ○  |    | ○       |
|                                       |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|                                       |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|                                       |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|                                       |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|                                       |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|                                       |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
|                                       |      |      |          |   |         |      |               |      |    |          |    |    |    |    |         |
| 合計                                    |      |      |          |   | 79科目    |      | 4011単位時間( 単位) |      |    |          |    |    |    |    |         |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等    |     |
|------------|----------|-----|
|            | 1学年の学期区分 | 2期  |
|            | 1学期の授業期間 | 26週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。